

遊びは仕事、仕事は遊び
遊びは仕事、仕事は遊び
仕事は遊び、遊びは仕事
仕事は遊び、遊びは仕事
遊びは遊び、遊びは遊び
遊びは遊び、遊びは遊び

大浦総合研究所

大浦勇三 著

ビジネス梁塵秘抄（八）

目次

はじめに

第一部

〔遊〕

遊びをせんとや生れけん

第二部

〔献〕

仕事をせんとや生れけん

第三部

〔学〕

学びをせんとや生れけん

はじめに

平安時代末期、「梁塵秘抄（りょうじんひしょう）」という歌謡集が編まれました。平安時代末期は、日本の歴史の中でも先が見えない激動の時代でした。編者は後白河法皇で一八〇年前後のものといわれます。書名の「梁塵」は、その歌で梁（はり）の塵（ちり）も動いたという故事からとられました。

多くの歌が七五調四句や八五調四句、さらには五七五七七の調子など、さまざまなバリエーションからなります。

通常、「梁塵秘抄」といえば、

**遊びをせんとや生れけむ、戯れせんとや生れけん、
遊ぶ子供の声きけば、我が身さえこそ動がるれ。**（岩波文庫版）

が有名です。

現在、日本をとり巻く環境は、平安時代末期に負けず劣らずの大変革期にあり、その規模はグローバルな広がりを持っています。グローバル規模の動きになればなるほど、あらためて日本の文化風土、日本人の特性が一段と問われることとなります。

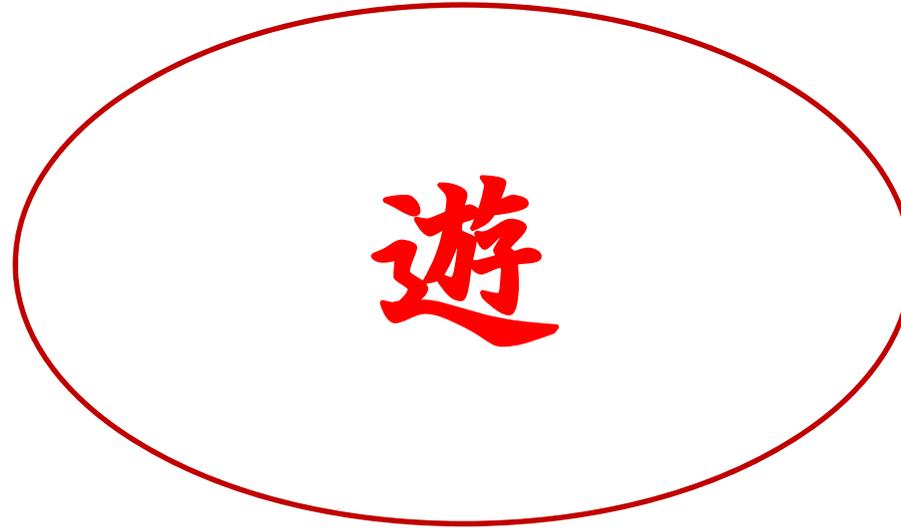
この二〇年、日本はなかなか前に進めず、ある意味で後退を余儀なくされましたが、「後ろ向きで前に進む」ことには限界があります。前へ進もうとする以上、きちんと正面を向く必要があります。平安時代の日本人は、乱世の中で的人生を「遊び」「戯れ」と肚をくくり、難題や障害と真正面から向き合い、それを乗り越え生き抜いてきました。

二二世紀の我々も、この文化風土と特性をもう一度再認識し、覚悟を決めて思いを深め、生活と仕事に希望と喜びを見出していききたいものです。

本書は、仕事を通じて少しずつ抽斗（ひきだし）にため込んできたものを、真つ平御免の何でもありの形式で纏めたものです。しかし、文学的素養などの力不足はいかんともし難く、お手本の「梁塵秘抄」とは比べることが憚れるレベルの内容になってしまいました。ただ、「遊（遊び）」「献（仕事）」「学（学び）」に対する思いの深さだけは忘れず、無我夢中でまとめたことだけはお汲みとりいただき、なにとぞご寛恕いただければ幸いです。

東京・芝にて

大浦 勇三



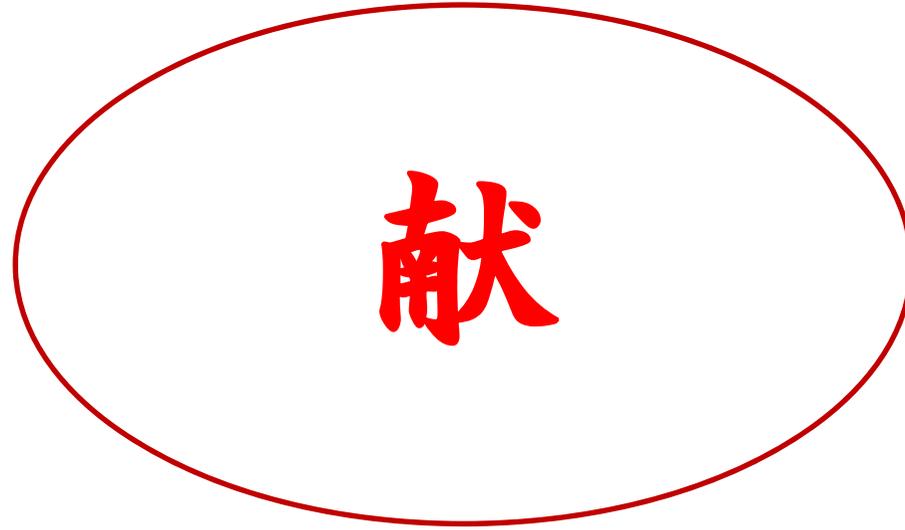
遊びをせんとや生れけん

*三〇ページ、九〇文より
一ページ、三文を抜粋

○西洋の踊りは宙に飛ぶ 日本の踊りは大地を踏む
至芸とは 無常や暗闇が身心に感じられるか否か
時間の概念が一方で短期化、もう一方では長期化
世界的視野とは模倣なく気宇壮大、と本田宗一郎

○協調性は同質文化の中での交流 社交性は異質文化の中での交流・戦略的連携
一流歌手は能のもつ静寂を秘めるという 他者との間を繊細に醸し出す感受性
有能な人材の要件 夢を見るだけでなく冷静に客観化、モノでなく発想を売る
人間 貧しさに耐えるDNAは保有するが、豊かさを生きるDNAは持たない

○古典 人間の心の危機の渦中で、力を与えてくれる書物や芸術
経済は縮小均衡 生活の質を下げなくとも、幸福は追求できる
世界は文明間の挑戦と応戦 お互いに鍛えあいながら進化する
地球上の不安定を嘆かない 進化を生み出す独創の前提と置く



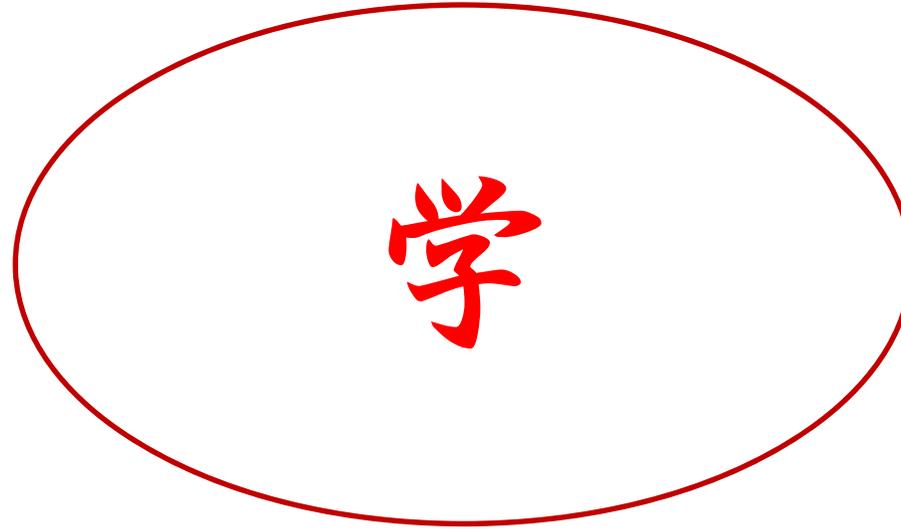
仕事をせんとや生れけん

*三〇ページ、九〇文より
一ページ、三文を抜粹

○日本のリスクマネジメント 見えるリスクについて関心を集中する
見えないリスクは無視 計画や予算の範囲外はすべて想定外で処理
待っても願っても黒船は来ない 伝えたい唯一つの光玉に集中する
経済・市場・技術の専門家ではなくビジネスのプロフェッショナル

○予期しないことが起きるから 常時予期しておく
うまいと強いとは異質 アマはうまくプロは強い
関係性を維持しながらも 心を込めすぎないこと
均質化圧力を排除 真・善・美と習慣、とカント

○スウェーデンモデル 弱い企業や産業は淘汰、人材を国際競争力のある分野へ
日本は技術優位に依存して分散 どんな市場を創るか、どこまで標準化するか
好きなことを納得するまで極める 究極まで進めるには失敗事例から発想する
日本人は駄目・駄目と鍛える アメリカ人は素晴らしい・素晴らしいと育てる



学びをせんとや生れけん

*三〇ページ、九〇文より
一ページ、三文を抜粋

○知識資本主義の下での市場の発展 智を練磨した者だけが勝者になる
一方向に振れる世界 広い視野で市場をどう活用するかを冷静に判断
空洞化は怖れるものではなく新世界の始まり 観念を扱う人間の出番
荷物が重く感じる時は己の力量が不足 才能・個性を価値に変換する

○役者は芝居力より私生活の蓄積 演技してない時の裸の人間稼業
先に行かずに並行していく 一言で済むことには二言は使わない
やる人はどんなに止めてもやる 秘めて大事にすると自然に発酵
正しい投資先ではなく正しい人間を探索すること、とバフェット

○文字のない民族はあるが歌のない民族はない 歌は人間の本能という
相手に届く表現を工夫し続けられ、コンセプトは自ずと熟成していく
文化風土を無視し、情報だけがそれを飛び越えて行き来すると危ない
懷徳堂、浪花商人の学校 商売の技でなく人間観・道徳観を敲き込む

大浦勇三（おおoura ゆうぞう）

oura@office.email.ne.jp

大浦総合研究所 代表

<http://www.mm.jp.or.jp/oura/>

早稲田大学卒業、筑波大学大学院修了。

米国大手コンサルティング会社アーサー・D・リトル 主席コンサルタントを経て現職。主担当領域は、経営改革、経営戦略&情報通信技術（ICT）戦略策定、業務改革／組織改革、研究開発／商品開発マネジメント、ナレッジマネジメント&イノベーションマネジメント、人材マネジメント、コーチング&メンタリング、プロジェクト&プログラムマネジメント、ベンチャービジネス支援等のコンサルティング。

主な著書には、

- ・「イノベーション・ノート」（PHP研究所）
 - ・「IT技術者キャリアアップのためのメンタリング技法」（ソフトリサーチセンター）
 - ・「よいコンサルタントの見分け方、かかり方」（清語舎）
 - ・「ナレッジマネジメントが見る見るわかる」（サンマーク出版）
 - ・「図解 ナレッジ・カンパニー」（東洋経済新報社） ほか
- その他新聞、雑誌、ウェブサイトへの寄稿多数

「ビジネス梁塵秘抄（八）」（**抜粋**）

著者 大浦勇三

二〇一四年三月 初版 第一刷発行

大浦総合研究所

〒一〇八・〇〇一四 東京都港区芝四丁目一六・一・二〇〇五

◎大浦総合研究所

大浦総合研究所の許可なく複製・改変などを行うことはできません。